

Volury

ボラリー

関西大学ボランティアセンター通信

こんなことしました! ボランティアセンターの1年

Vol. 4

発行日：2007年(平成19年)12月1日
発行：関西大学 ボランティアセンター
大阪府吹田市山手町3丁目3-35
〒564-8680 / TEL.06-6368-1121
FAX.06-6330-3703
<http://www.kansai-u.ac.jp/volunteer/>

Index:

ボランティアセンター職員ってなにやってんの?

ボランティアセンター講座

防災キャンペーン

特集 学生スタッフ企画
図書館の本の落書き消し

ボランティアセンター
学生スタッフ活動紹介

- なんでも相談コーナー
- エイズキャンペーン
- 淀川掃除ボランティア
- 中越沖地震の被害に対する募金活動
- たばこマナーキャンペーン
- 学園祭



ボランティアってなんだろう？ボランティアにはどんなものがあるんだろう？
と知っている人も多いはず・・・

代表的な業務

ボランティアに関する
啓発・啓蒙活動

ボランティア情報の
収集及び提供

ボランティア活動相談

ボランティアセンター
学生スタッフの育成・支援

ボランティア系団体
の育成・支援

ボランティアセンター職員は、ボランティアに関心があるみなさんとボランティアを募集している団体さんとの橋渡し（コーディネート）をすることを大切な業務と考えています。

コーディネートって？

わかりやすく言うと、ボランティア先の情報を集めて、みなさんに紹介することですが、当事務室で最も大切にしていることは、参加するみなさんにあったボランティアを紹介することです。そのために、ただ資料を見せて紹介するだけでなく、みなさんのお話をなるべくていねいに聴くことをモットーとしています。

ボランティアって？

みなさんはボランティアにどんなイメージを持っていますか？「しなければならぬこと」って、思っていないませんか？ボランティアってね、実は「したいこと」なんですよ。

してもらいたい人がいて、したい人がいて、そのふたつを結びつけることが私たち**コーディネーター**（ボランティアセンター職員）の仕事なんです。

しかし、いつも需要と供給が合うわけではないので、合わないときがコーディネーターの腕の見せ所です。日頃から学生さんと話をして、誰がどんな活動をしたがっているか、どの依頼者に紹介すればいいか等を常に考えています。みつかりそうになかったボランティアがみつかり、かつ参加学生から「行ってよかった」と言ってもらったときの喜びはなにもものにも代えがたいものです。

こんなことがありました

ボランティア活動を終了後、依頼者からの感謝の言葉を頂きました。コーディネーター（ボランティアセンター職員）から、そのことを参加メンバーに伝えたとこ、**「僕のほうこそ、たいしたことはしていないのに、そんなに感謝していただいてありがたいと思っています。紹介して下さったコーディネーター（ボランティアセンター職員）の方々にも感謝しています。」**と言ってもらいました。

★その一言で、私たちコーディネーターは元気をいっぱいもらえたんです。こちらこそありがとう。



☆講座紹介☆

ボランティアセンターでは、みなさんがボランティアにふれるきっかけになるような講座を開講しています。講座の内容には、ボランティア活動だけでなく、日々の生活や社会に出てから活かせるようなものもあります。受講料は無料です。この機会にあなたも、参加してみませんか？今回は、数ある講座の中から手話講習会を取り上げて紹介したいと思います。その他の講座については関西大学ボランティアセンターHPで見ることができます。

URLはコチラ ▶ <http://www.kansai-u.ac.jp/volunteer/lecture/index.html>

初級手話講習会

コミュニケーション手段のひとつである手話にふれることで、普段何気なく話している「ことば」の意味をより深く知ることができ、コミュニケーションが楽しくなります。

初級手話講習会では、手話初心者である初級コースと、本学で初級コースを受講済みの方対象の初級応用コースの2コースを開講しています。

☆手話講習会初級コース

初級コースでは、指文字や挨拶、自己紹介など基本的な手話を学びます。その中で、仕事や趣味、数字の表し方などができるようになります。

たとえ簡単な会話でも、手話を通じたときは嬉しい気持ちになるはず。



☆手話講習会初級応用コース

初級応用コースでは、初級コースで学んだ単語や指文字をもとに、日常会話の練習を行います。また、場面を設定してのロールプレイも行い、実践的な手話を学びます。

これで、聴覚障がいをお持ちの方に会ったときも積極的にお話したくなるはず。



さらに!

手話講習会の中では、特別講演として「聴覚障がいの方のお話を聴く会」を実施しており、耳の不自由な方の生活やバリアフリーについて、聴覚障がいをお持ちの方にお話いただいています。

手話を学ぶことや「お話を聴く」ことは大変貴重な経験になると思います。平成20年度も開講予定ですので、ぜひご参加ください!

手話講習の受講者の声など詳細を関西大学ボランティアセンターHPで見ることができます。

URLはコチラ ▶ http://www.kansai-u.ac.jp/volunteer/lecture/sign_language.html

関西大学ボランティアセンター事務室では、 起こりうる災害(地震や台風等)に備え、防災キャンペーンを行いました!

防災キャンペーンでは、災害に備えてどういった準備や心構えが必要であるか、実際に災害が起こったときに何ができるのか、等の展示や災害時の非常食であるアルファ化米の五目ご飯の炊き出し訓練、備蓄水の配布を行い、たくさんの方に参加していただきました。関西大学統一学園祭期間中である11月3日に実施したこともあり、500食炊き出したアルファ化米の五目ご飯がすべてなくなっても、並んでアンケートに答えていただけるほど好評でした。みなさんが防災について考えるきっかけとなるよう願っています。

学生ボランティアの活躍!

当日は炊き出し訓練や備蓄水の配布に、学生ボランティアが活躍してくれました。炊き出し訓練だけでなく、準備や片付けもお手伝いしてくれ、ボランティアとして参加してくれた学生も楽しみながら訓練を体験し、参加者の方と交流しました。



学生ボランティアの感想

今回の防災キャンペーンに参加して、一連の流れの中で感じたのが人手不足の恐ろしさでした。実際に、ご飯を待たれている人はたくさんいて、忙しいものでした。しかし、自分の担当外だった作業も率先して引き受けるなど、スタッフ同士で助け合いながら作業をしました。なので、大変というよりも正直お湯が熱かったことのほうが印象に残っています。

今回は、500食限定ということもあり、気持ち的にも楽でしたが、実際に災害が起きたとき、非常食の運搬、炊き出し、配布において、少人数では限界があり、より多くの人手が必要であるということを肌で感じました。そして、誰かの役に立つことが、想像以上に自分自身の満足感に繋がるのだと心から思いました。今回の防災キャンペーンにふれてくれた方の中から、これから先1人でも多く防災に関心をもって、実際に活動に参加してくれるといいなあと思います。

工学部2回生 大垣内 龍也 ・ 文学部4回生 小松 賢介

アンケートの集計結果について

アンケート(675件)の結果から、当日参加していただいた方の半数以上が関西大学生以外の方で、地域住民の方々も防災意識が高いことを改めて認識しました。このことをうけて、今後もボランティアセンター事務室では、関西大学生だけでなく、地域の方々も参加できるような防災や被災地ボランティアに関する講座や訓練等を実施していく予定です。ぜひ、ご参加ください。

私たちボランティアセンター学生スタッフは、毎週1回3～4限、図書館3階の一室を借りて本の落書き消しを行っています。インフォメーションシステムで「図書館の本の落書き消し」を掲示しているので、この活動を知っている学生もいると思います。では、実際にどのように行われているのか書いてみようと思います！

図書館に到着。まず2階のカウンターで作業を行う部屋の鍵と落書きのある本を受けとります。このとき渡される本の量は平均約50～60冊。鍵と本をもっていざ3階へ！



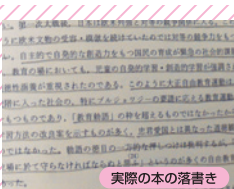
一般の学生とは3階の部屋前で初めて合流（途中参加OKなので、途中で参加してくれる学生も多いです）。鍵を開けてそれぞれ好きな席に座ります。本を台車から降ろし、消しゴムを渡して作業開始！



この落書き消しですがただ黙々と消しているわけではありません。図書館という空間ですが、部屋の中は会話OK！楽しく話しながら作業しています（*^_^*）学生スタッフも一般学生と交流できる場なので会話を楽しみにしているのです！



時間が来ると落書きを消した本を数え、机の上を掃除します。このときの消しカスの量はとても多く、今までに見たことのない量になります。掃除が終わると、台車をもって再び2階のカウンターへ。本を司書さんに渡して作業終了です。



いかがでしたか？少しは活動の実態が見えましたか？以上のように毎週1回、図書館で活動しています。作業は簡単、雰囲気はお気楽♪実施前に必ずインフォメーションシステムで情報を流すので、ぜひチェックして図書館3階に来てください(^_^)学生スタッフ一同、みなさんの参加をお待ちしていますよ～。

今年度から、インフォメーションシステムで一般学生の参加を募集しました。今年度は11月9日までに15回行い、合計で704冊の落書きを消しました。

ボランティアセンター学生スタッフは、「関大生が気軽にボランティアに参加できるきっかけの提供」を理念として、年間を通じてさまざまなボランティア活動やキャンペーンを行ってきました。以下、今年度の活動の一部を紹介します。

なんでも相談コーナー

4月1日～4月4日に凧風館1階と入口付近で、新生生を対象にした総合案内所を開設しました。ITセンター、教室などの場所の案内から、学部別の履修相談まで幅広く対応しました。



エイズキャンペーン



6月27日と11月28、29日に、凧風館1階学生ラウンジにて、エイズや性感染症に対する理解を深めることを目的としたキャンペーン活動を行いました。パネルなどの展示のほか、レッドリボン・メッセージキルトの作成、コンドーム実習などの体験型のコーナーを設けました。

淀川掃除ボランティア

毎月第1日曜日に、「淀川掃除に学ぶ会」の方々と共に、淀川河川敷公園で清掃活動を行いました。一般学生からも参加を募ったところ、朝9時～11時という早い時間にもかかわらず多くの参加者が集まりました。



中越沖地震の被害に対する募金活動

9月20日と9月26日に大阪梅田新阪急ビル前において、新潟県中越沖地震の被害への募金活動を行いました。2日間で集まったお金27,007円は社会福祉法人新潟県共同募金会に寄付しました。



ボランティアセンターとしても学内に募金箱を設置し、59,987円を社会福祉法人新潟県共同募金会に寄付しました。

たばこマナーキャンペーン



10月24日に凜風館1階学生ラウンジで、保健管理センターと共にタバコに関するキャンペーンを実施しました。歩きタバコの危険性を子どもの目線から体験できるコーナーや、道端に落ちているタバコを集めた展示物などから喫煙マナーの向上を訴えました。

学園祭

11月1日～11月4日の学園祭期間中、「世界がもし100人の村だったら」を実際に体験する企画と、「紙の使用量削減」と「非木材からの紙生産」をテーマとして、非木材のバナナの幹を使った紙すき体験教室を開きました。



学生スタッフ紹介



学生スタッフとは、「関大生にボランティアに興味を持ってもらうきっかけづくり」を活動の中心にしている団体です。主な活動は、月1回実施するキャンペーンの企画と運営や、一般学生の参加を募ってのボランティア活動です。企画・運営と並ぶと堅いイメージがありますが、実際は他のサークルや部活と変わらない雰囲気です。活動しています(^_^)楽しいですよ。せっかくの4年間、なにか人と違うことを経験してみませんか？興味のある人は凧風館1階ボランティアセンターに来てください。

ボランティアセンター登録者募集中!

ボランティアセンター登録者には、多方面から寄せられるボランティア情報だけでなく、ボランティアセンターが企画する講座やキャンペーンなど行事の情報もメールで配信しています。

登録時には、ボランティアに行く前のガイダンスやボランティア保険についても随時説明していますので、気軽に質問してください。

編集後記

- ★生まれて初めて「記事」を書きました。親しみやすい文章に挑戦しましたが、達成できたのやら…。「ボランティアセンターって？」の「？」がなくなるきっかけになれば、嬉しいかぎりです。(VC学生スタッフくら)
- ★業者の方や職員さん、くらと一緒に作り上げていく感覚を楽しませてもらいました。次号以降もチャンスがあれば編集に関わってみたいです。(VC学生スタッフどん)
- ★見ず知らずの困っている人に、声をかける勇気が出てきている自分に気づきました。これも学生スタッフ他、ボランティアにたずさわった学生さんたちにかかわらせていただいたおかげだと感じています。(VC職員S)
- ★コーディネーターは、みなさんが感じた嬉しい気持ちや心温まる出来事をたくさん共有させてもらえるいいお仕事だなと思う今日このごろです。(VC職員Y)

